



まつもと じゅん

中区・磯子区・金沢区

松本純 まちかど政治版



平成23年7月1日号

発行
かながわ
1区支部
編集長
平木 茂

7月号
2011年
No.103

松本純ホームページ 毎日更新中！ [http:// www.jun.or.jp](http://www.jun.or.jp) ▶ 検索キーワード「松本純」

菅総理が退陣すれば与野党協力は実現する 麻生元総理、石原幹事長が「大震災」を語る

東日本大震災をテーマとする松本純政経セミナーが6月13日、パンパシフィックホテルで開かれました。今回登壇していただいたのは麻生太郎元総理と石原伸晃幹事長。会場を埋めた740人の出席者はお二人の話に大きくうなずいていました。



麻生さんはチェーンストア協会の清水信次会長がとった行動を紹介してリーダーシップのあり方を問いました。85歳のこの経験豊富な経営者は地震後、まず全国の傘下の店に「全部あける」と命じました。現場からは「電気がつかない」「レジが打てない」と言ってきます。清水さんは「電気がなければろうそくを使え。ランタンを使え。そろばんでやれ」、そして「赤字が出たら後で埋めてやる。こういうときこそ普段お世話になっているお客さまに恩返しをしろ」と檄を飛ばしたそうです。これがまさに指導力です。

「戦後最大の国難に対応するには政府が果たさなければならない役割をきちんとやっていない」。麻生さんは菅内閣の震災対策をこう断じ、今後の対応を次のように明示されました。「信頼のない人(菅総理)には代わってもらい、新しい方と十分話し合って新しい政治体制をつくる。ここで皆で協力する。ただオール与党というのは議員間の相互批判ができなくなるから目的は限定する。そして期間も限定します」。



「国民のために今何をなすべきなのか、私たちはもう道筋を決めているのです」。石原さんはこう断言しました。ここで取り出したのは第1次補正予算の際、自民・民主・公明の政調会長が交わした合意書。これには子ども手当の再検討や大震災の復旧・復興のための財源は復興債の発行によってまかなうなどが盛り込まれています。3党の合意にもかかわらず菅総理がそれを実行しないのが現状ですが、石原さんは「3党で決めたことを各党がしっかりと示せばおのずと結果は見えてきます」と明言されました。

復旧・復興のメドも立っていないのに政争をしている場合か！ 最近の永田町を見て、こうお考えの方は多いと思います。しかし菅総理が退陣すれば、石原幹事長が言うように、各党が協力する道筋は見えているのです。麻生元総理の話のように、復旧・復興に超党派で当たれる体制はできるのです。そのための自民党の行動が、私たちが今最善と考える行動であることを多くの方々にご理解いただきたいと思います。

いま地域で
(人・まち・出来事)

大震災の経済的打撃を乗り越えたい!

磯子区商店街連合会会長 望月 量三さん

磯子区商店街連合会には14商店街420店が加入しています。望月さんは約20年間会長を務められた黒川順吉さんの勇退に伴い、6月4日の総会で新会長に選出されました。ご自身は洋光台駅前「ヤバネスポーツ」を経営し、10年前から区商連副会長を務められていましたが、会長就任の抱負をまず「黒川前会長の永年にわたるご尽力に感謝し、歴史のある区商連の伝統を引き継ぎたいですね」と語ります。



商店の多くは今、経営者が高齢化し、その厳しい経営状況を見て次の世代が後を継がないという悩みに直面しているそうです。そこへリーマン・ショック、そして東日本大震災…。望月さんは「商店にとって大変厳しい環境が続くときだからこそ、商店街会員たちの絆を強くし、力を出し合っこの危機を乗り越えたい。新執行部も全力で取り組みます」と宣言。さらに「松本代議士には区商連会員との懇談会などを通じて私たちの窮状を聞いてもらい、その声を国に届けていただきたい」と注文されました。

松本議員の活動記録

2011年
5~6月

《5月》

- 27日●米国国務省日本語研修所卒業ガーデンパーティー
- 29日●六浦東地区青少年健全育成行事(運動会)
●日本薬局協会の神奈川支部総会
●山手地区商店街連合会総会

《6月》

- 3日●自民党神奈川県連選挙区支部長懇談会
- 4日●神奈川県神輿保存会道場祭
●磯子区商店街連合会懇親会

- 6日●平成23年自由民主党横浜市支部連合会大会
- 7日●障害者特別委員会・厚生労働部会合同会議
●マンション計画修繕施行協会定時総会懇親会
- 13日●松本純政経セミナー2011
- 15日●厚生労働委員会
●内閣委員会(質問)
- 17日●川本工業(株)創立81周年記念式典
●金沢東料理飲食業組合総会懇親会
- 18日●山元小学校創立90周年記念式典



5/27 金沢中央事業会通常総会・懇親会
「震災で運営は厳しいが少数精鋭で頑張っていきたい」と大谷公一会長



5/29 森浅間神社陰祭式典
式典後夏の例大祭の第一回祭礼委員会が開かれました。



6/5 2011年日本太極拳友会交流演武大会
東日本大震災支援をテーマに被災地福島や海外からの拳友が参加



6/5 吉田町町内会・名店街会・市況研究会
新町内会館で町内会や商店街の運営について活発な意見がだされました。

「みんなの声」お寄せください ●くらしを豊かにする「政治」を感じていますか? あなたの「政治」に対する想いをお寄せください
▷メール info-matsumoto@jun.or.jp ▷ツイッター http://twitter.com/junmatsumoto411 ▷グリー http://gree.jp/matsumoto_jun

永田町日記

金沢区の液状化被害に横浜市が支援します

金沢区柴町のマンション「グランマーレ横浜・八景島」「サウスウイング金沢」「シーブリーズ金沢」では、東日本大震災に伴う地盤の沈下・隆起や液状化によって駐車場などに大きな被害を受けました。しかし国の支援制度は大規模な被害が生じた地域を対象としているため、指定地域ではない横浜市内の被害には適用されません。そこで横浜市は5月補正予算に震災対策のひとつとして「液状化被害住宅等支援事業」の予算7,000万円を計上しました。その中にマンションの共用部分や付帯施設が液状化などによって大規模な被害を受けた場合、その管理組合に対して1組合あたり1,000万円を上限に工事費を助成するという項目を盛り込んだのです。

今回の予算措置は緊急支援として国の制度を補完するものです。6月17日に説明に来られた横浜市建築局の鈴木伸哉局長もこの点を強調されました。今回の大震災被害に対しては地域を問わず、本来は国が支援の手を差し伸べるべきです。菅政権の対策の遅れや不十分さがここでも露呈した形ですが、私も政府に制度の改善を強く求めています。(純)